

もくいく
木育絵本シリーズ③

◎ロボキーとちきゅう

ロボ木ーと地球

監修 やました あきのり

文・よこやま みさお／絵・たかみね みきこ



海青社

このレビューでは表示されない頁があります。



ロボ木一と地球



②

くるまは あつと いうまに うちゅうへ
とび出しました。

うつくしい ちきゅうが 見えます。

『うつくしい だろう?

しかしな、いま ちきゅうは みどりの
森もりが どんどん へってきて みんな
こまつて いるんだよ。』

『え、 どうして?』

りんちゃんが きました。

ふしきそうに

——ぬく——

このレビューでは表示されない頁があります。



ロボ木一と地球



④

ロボ木一が ちやくりく したのは
たいへいように うかぶ しました。

みんなは どこへ 行つたのでしょうか。

ロボ木一は 森の中を あるきました。

『みどりが たくさん あつて いい

ところだなあ。』

オランウータン

『だけど さいきん 木が たくさん

きられて しまつてね。

みんな こまつて いるんだよ。』

ふあんそうに

かんしんしたように

| ぬく |

このレビューでは表示されない頁があります。

●監修者の言葉 / 山下晃功 (チャーリー博士・ロボ木一生みの親)

地球上では、私たち人間やいろいろな動物が酸素を吸収し、二酸化炭素を放出して生きています。しかし、森の木(樹木)や草花は私たちが放出した二酸化炭素を吸収してくれます。これが光合成です。

地球上の植物は光合成という化学反応によって果物、穀物、野菜などの食料を供給してくれたり、森の木(樹木)は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止してくれます。さらには二酸化炭素の炭素を樹木の幹などに固定し、木材資源も供給してくれる優れものです。

しかし、義務教育における理科で学ぶ光合成では、草花を中心として学びますが、森の木(樹木)では学びません。すなわち、「茎(草花)は学べど、幹(樹木)は学ばず」です。

樹木の幹の部分である木材が光合成によって吸収した二酸化炭素の炭素を固定したものであることは、多くの皆さんには意外と理解されていません。木材でできているロボ木一は、体内に温室効果ガスである二酸化炭素の炭素を固定しています。

ロボ木一は、この「炭素固定」のことを多くの皆さんに知ってほしいと願っています。そのためにも、森の木(樹木)を地球上の隅々に植え、育て、豊かな森づくりをしなければなりません。そして、木のある生活環境の「緑と木の地球」をつくらねばなりません。

これから先、石油、鉱物などの化石資源の使用量を少しでも減らし、再生可能な木材資源を大切に永く使用して地球温暖化を防ぎ、「緑と木の地球」上で、人類や動物が健康で安全に生き続けられる地球環境をつくっていこうではありませんか。

ロボ木一と地球



木育絵本シリーズ③

ロボ木一と地球

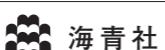
監修・やましたあきのり
文・よこやまみさお
絵・たかみねみきこ

●協力

一般財団法人 田部謝恩財団
島根大学教育学部附属幼稚園
社会福祉法人 七光保育所

酒井産業(株) (<http://sakai-toys.jp/>)
高田まさき (おもちゃコンサルタントマスター)

木育絵本シリーズ③ ロボ木一と地球 [紙しばい] 9場面



発行日 / 2017年3月15日 初版第1刷
定価 / カバーに表示しています

監修者 / 山下晃功
文 / 横山操
絵 / たかみねみきこ
発行者 / 宮内久

〒520-0112 大津市日吉台2-16-4
Tel 077-577-2677 Fax 077-577-2688
<http://www.kaiseisha-press.ne.jp/>
郵便振替 01090-1-17991

● Copyright © 2017 A. Yamashita, M. Yokoyama, M. Takamine ● Printed in Japan
● ISBN978-4-86099-826-4 C8793

「ロボ木一」は酒井産業(株)の登録商標です。